

のびのび暮らそう! 人気のオープン外構

オープン外構とは、一般的に敷地のまわりに塀などをつくらない、また、簡単にまたげる低いフェンスや生け垣、土留めなどで敷地を囲った外構のこと。開放感があり、また日当たりや風通りが良いのが一番の特徴。心配される防犯面ですが、死角がなく侵入犯が隠れるところがないので防犯性が高いと言われています。窮屈な暮らしを強いられている今こそ、お家くらののびのびしたいものです。

担当=東宮千鶴/ページデザイン=牧陽子

1



Style 29
平屋住宅のオープン外構

のびのび暮らそう! 人気のオープン外構

こだわりのオープン外構

平屋住宅のオープン外構

①エクステリア全景。建物との調和を考え、細部までこだわったスタイリッシュなエクステリアです。

え、細部までこだわったエクステリア工事です。Tさんと何度も打ち合わせを重ね、建物との調和を考え、最後まで悩まれていたカーポートのデザインは、黒の外壁に映える重厚感のある木目調のフレームを採用。そして、柱を駐車の際ストレスにならない位置に配置し、カーポート下も広々としたスペースを確保できました。連結されたカーポートは、左右の位置をずらして設置しています。

一見気づきませんが、玄関の軒とカーポートを少しかぶらせてあります。そうすることで、雨の日でも濡れずに車の乗り降りや郵便物の受け取りができるように配慮しました。また、来客時にもお客様は濡れずに外でお待ちいただけます。

宅配ボックス付きの機能門柱はあえて照明は設置せず、カーポートのフレームに埋め込んだダウンライトでガレージ全体を照らします。

またアプローチは、さり気ない幾何学模様がおしゃれな敷材で、ここにもTさんのこだわりが感じられます。シンプルながら随所にTさんのこだわりが詰まったシンブルモダン外構。機能性とデザイン性の両方を兼ね備えています。

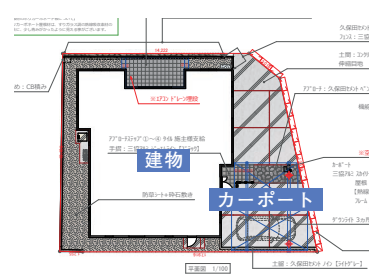
え、細部までこだわったエクステリア工事です。Tさんと何度も打ち合わせを重ね、建物との調和を考え、最後まで悩まれていたカーポートのデザインは、黒の外壁に映える重厚感のある木目調のフレームを採用。そして、柱を駐車の際ストレスにならない位置に配置し、カーポート下も広々としたスペースを確保できました。連結されたカーポートは、左右の位置をずらして設置しています。

一見気づきませんが、玄関の軒とカーポートを少しかぶらせてあります。そうすることで、雨の日でも濡れずに車の乗り降りや郵便物の受け取りができるように配慮しました。また、来客時にもお客様は濡れずに外でお待ちいただけます。

宅配ボックス付きの機能門柱はあえて照明は設置せず、カーポートのフレームに埋め込んだダウンライトでガレージ全体を照らします。

またアプローチは、さり気ない幾何学模様がおしゃれな敷材で、ここにもTさんのこだわりが感じられます。シンプルながら随所にTさんのこだわりが詰まったシンブルモダン外構。機能性とデザイン性の両方を兼ね備えています。

兵庫県T邸	
施工面積	約47坪
施工期間	約30日
設計・施工	エクステリアデザイン神戸 (P.128)
プランナー	堀川 敦生さん (P.125)
平面図	作成=エクステリアデザイン神戸



※使用商材
機能門柱・ポスト・宅配ボックス・表札・カーポート・フレーム=三協アルミ「フレムス1型」「SWE-1」「STB-MN 2」「KP-A-1」「スカイリードH28」「木調フレームD80」



②③施工前。④正面横の塀は既存の石積みにブロックを組み合わせたモダンなデザインに。⑤玄関の階段には手すりを設置。⑥アプローチは幾何学模様の敷材でおしゃれに。機能門柱は建物に合わせてクールなデザインをセレクト。⑦広々としたカーポートは、駐車ストレスがない位置に配置。⑧玄関の軒とカーポートはあえて少しかぶらせることで、雨の日も濡れずに安心です。⑨⑩カーポートのフレームに埋め込んだダウンライトでガレージ全体を照らします。

機能性とデザイン性の両方を兼ね備えたエクステリア





平面図

作成=エクステリアデザイン神戸



兵庫県T邸

施工面積 約95坪

施工期間 約14日

設計・施工 エクステリアデザイン
神戸 (P.128)

プランナー 堀川 敦生さん (P.125)

※使用商材

カーポート=三協アルミ「Uスタイルアゼスト」

Style 45

我が家がライトアップ外構にした理由

雨でも夜でも使いやすい
木調天井のカーポート

①迫力あるカーポート屋根が目を引くファサード。4台を駐車できるカーポートの屋根とアプローチの屋根をつなぐことで、圧巻のファサードを実現しました。②エクステリア全景。③カーポートから玄関まで屋根伝いでたどりつけるため、悪天候時の車の乗り降りもストレスフリー。また、カーポート屋根は、既存の建物のポーチ屋根と干渉しないように絶妙に計算しています。④アプローチ屋根は天井材を抜いて、透け感のある素材を使用し、光が入るように設計しています。⑤⑥施工前。⑦⑧夜のエクステリア。大きな屋根に埋め込まれたダウンライトがカーポートを明るく照らします。

T邸には車4台が駐車できる駐車スペースがありました。そんな駐車スペースに加えて、アプローチ部分すべてを覆える広大なカーポート屋根をご希望だったTさん。道路に面した間口が12mにもなる最大サイズのフレームを使い、その要望を実現しました。一般的なカーポートと違い屋根には木調の天井材を使用。最大サイズのフレームを使った迫力あるデザインながら、まるでホテルのようなラグジュアリーな空間をつくり出しています。

駐車スペースからエントランスまですべてが屋根に覆われているため、悪天候時でも雨に濡れることなく車の乗り降りが可能に。夜になると、天井に埋め込まれた6個のダウンライトが、駐車スペースから玄関までの動線を明るく照らし出します。

カーポートの設置にあたっては、柱や屋根の位置を綿密に計算。既存の建物の位置も考慮しつつ、車の出し入れの際に邪魔にならない位置に柱を設置しました。また、既存の建物のポーチ屋根と干渉したり、建物の窓の採光の妨げにならないように、何度も現地計測を行った上で屋根の高さを算出しています。

最大サイズのフレームが存在感を出しながらも、建物ともしっかりマッチしたカーポートに仕上がりました。





考え尽くされた「屋根」が家への出入りを快適に

